

製品名: アクチニン α 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06549**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	103kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTN3
別名	ACTN3; Alpha-actinin-3; Alpha-actinin skeletal muscle isoform 3; F-actin cross-linking protein
遺伝子 ID	89.0
SwissProt ID	Q08043
免疫原	抗血清はヒト ACTN3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

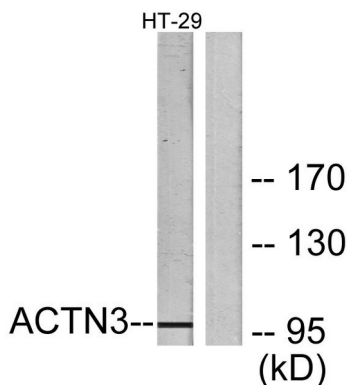
この遺伝子は、 α -アクチン結合タンパク質遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は主に骨

格筋で発現し、サルコメア Z 線の構成成分として機能します。このタンパク質は、アクチンを含む細いフィラメントの架橋に関与しています。この遺伝子の対立遺伝子多型は、コーディングバリエーションと非コーディングバリエーションの両方をもたらします。参照ゲノムはコーディングアレルを表しています。この遺伝子の非機能アレルは、エリートアスリートとしての地位と関連しています。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、機能: F-アクチン架橋タンパク質。アクチンを様々な細胞内構造に固定すると考えられています。これは束状タンパク質です。、多型性: 世界人口の約 18%は、位置 577 の終止コドン多型により、機能的な ACTN3 を欠いています。機能的な ACTN3 発現の欠如は、疾患状態とは相関していません。、配列に関する注意: ヒトゲノムアセンブリによると、位置 577 に終止コドンがあり、これは世界人口の 18%にのみ見られます。、類似性: α -アクチニンファミリーに属します。、類似性: 1つのアクチン結合ドメインを含みます。、類似性: 2つの CH (カルポニン相同) ドメインを含みます。、類似性: 2つの EF ハンドドメインを含みます。、類似性: 4つのスペクトリンリピートを含みます。、サブユニット: ホモ二量体、逆平行。ACTN2 とヘテロ二量体も形成します。MYOZ1 と相互作用します。、組織特異性: タイプ 2 骨格筋線維のサブセットでのみ発現します。、

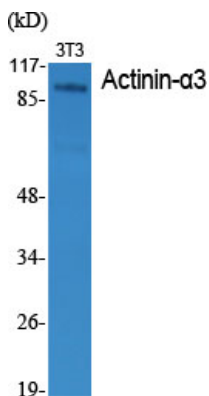
研究分野

接着斑;接着結合;接着結合;白血球の内皮透過移動;アクチンと細胞骨格の調節;全身性エリテマトーデス;不整脈性右室心筋症 (ARVC);

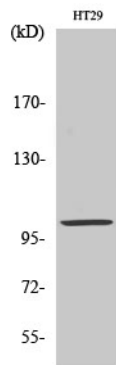
画像データ



ACTN3 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



アクチニン α 3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



アクチニン α 3 ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析